

令和7年1月20日提出

県内初！環状交差点（ラウンドアバウト）の社会実験を開始

標記について、次のとおりお知らせします。

日 時	令和7年2月14日(金) 正午～
場 所	破籠井町(別紙資料参照)
内 容	信号機がない環状交差点(ラウンドアバウト)の社会実験を、<u>県内初で実施</u>します。 ◆環状交差点(ラウンドアバウト)とは 車両の通行する部分が環状(円形)の交差点で、道路標識により車両がその部分を右回り(時計回り)に通行することが指定されているものを言います。全方向から徐行して進入することで、交差点内の速度抑制となるため重大事故の防止につながるなど、安全性の向上が期待されます。(その他、導入効果については添付資料参照) 環状交差点(ラウンドアバウト)の設置については、国土交通省、警察庁が推奨しています。 ◆全国の設置状況 ・40都道府県 161か所(令和6年3月末時点) ・九州、沖縄地方では、福岡県2、熊本県5、大分県1、宮崎県1、鹿児島県1、沖縄県5 ・長崎県及び佐賀県には導入実績なし ◆社会実験の方法 ・県内初となる社会実験のため、環状交差点の交通規制に慣れいただくことを考えています。 ・社会実験の間(令和7年度中)は、仮設材で環道等を設置し実施します。 ・その後、社会実験による効果を見極めたうえで設計等を行い、整備を予定しています。
問い合わせ先	諫早市 建設部 道路課 担当:松竹、西尾 電話番号:0957-22-1500(内線2434、2436) E-mail:douro@city.isahaya.nagasaki.jp
担当課	交通規制に関しては、 諫早警察署 交通課 電話番号:0957-22-0110
備 考 (記事解禁日等)	



ラウンドアバウト の社会実験を開始!

令和7年2月14日(金)12:00~

ラウンドアバウトとは

ラウンドアバウトとは、交差点の中心に円形地帯(中央島)が設けられた円形交差点の一種です。車両は中央島に沿った環状の道路(環道)を時計回りで走行し、行先の道路へ流出します。環道を走行する車両に優先権があり、環道の交通流は信号機や一時停止などに中断されません。

場所

● 阿蘇宮神社

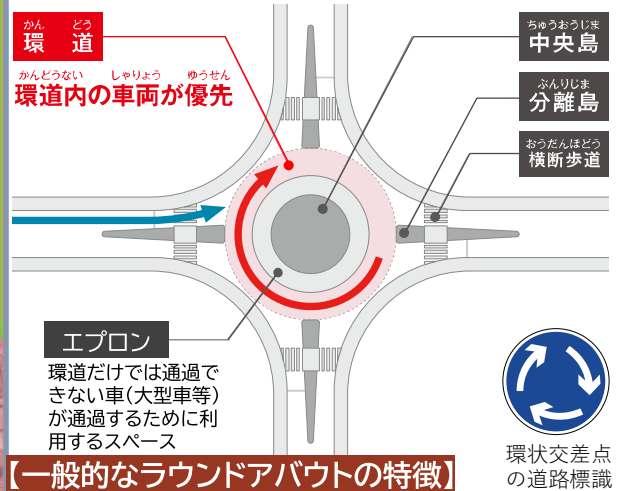
国道34号

諫早市立明峰中

● 明峰中学校前交差点

● 鎮西学院大学

この交差点です



【一般的なラウンドアバウトの特徴】

現在

ラウンドアバウトの導入効果

安全性

交通事故(特に重大事故)の減少

- ・ 走行速度の抑制
- ・ 車両同士の交錯ポイントの減少

円滑性

無駄な待ち時間の解消

- ・ 赤信号による無駄な停止の解消
- ・ 特殊な交差点での処理能力の向上

環境性

環境負荷の軽減

- ・ 赤信号待ちによるCO₂排出の削減
- ・ 信号制御による電力消費の削減

防災性

災害に強い

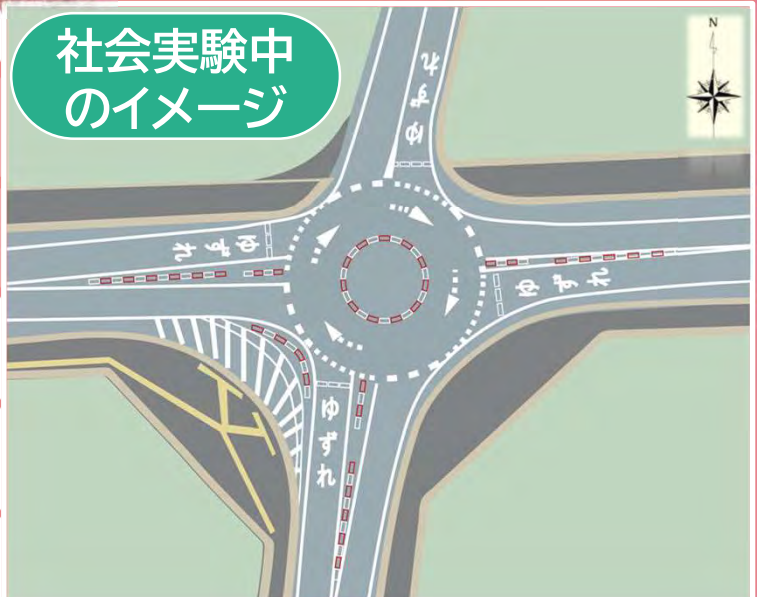
- ・ 災害時にも電力に頼らず自律的に機能し、平時と同様の運用が期待

地域性

景観形成・ランドマーク形成

- ・ 地域のシンボルとして景観形成に寄与

社会実験中のイメージ



【お問い合わせ】 諫早市役所 建設部 道路課
諫早警察署 交通課

TEL: 0957-22-1500

TEL: 0957-22-0110

『ラウンドアバウトの通行方法』

日本での『ラウンドアバウトの通行方法』については、道路交通法の一部を改正する法律(平成25年法律第43号)が平成26年9月1日から施行され、『環状交差点の通行方法』として定められています。

環状交差点を通行する時は？

あらかじめできる限り道路の左端に寄り、徐行して進入してください。環状交差点内は、右回り(時計回り)に通行し、できる限り環状交差点の側端に沿って徐行しなければなりません。



車両の優先関係は？

環状交差点においては、環状交差点内を通行している車両等が優先ですので、交差点内を通行する車両等の進行を妨げてはいけません。



直進

左折

右折

歩行者に注意を！



環状交差点に入ろうとするときや、環状交差点内を通行するときは、その環状交差点または直近で道路を横断する歩行者などに特に注意し、できる限り安全な速度と方法で進行しなければなりません。

環状交差点を出る時は？



出ようとする地点の直前の出口の側方を通過したとき(環状交差点に入った直後の出口を出る場合には、その環状交差点に入ったとき)に、左側の方向指示器を操作し、交差点を出るまで合図を継続しなければなりません。

転回

資料：諫早市・長崎県警

●より詳しいことについては、下記URLよりご覧ください。

環状交差点の通行方法

<https://www.police.pref.nagasaki.jp/police/kotsu-anzen/kotsu-kisei/kanjyoukousaten/>

